

# 山口新聞

平成 28 年 4 月 8 日 (金)

NO.197

①会員の皆さん(設立総会で)  
②設立準備の打ち合わせ



農地・水・環境  
守ろう地域の  
手で

## 農地保全、後世に財産を残したい 三隅地域資源保全管理協定運営委員会(長門市)

197



当会は長門市東部に位置する三隅地域9集落の活動組織が、昨年8月に合併し設立した。三隅川を中心とした狭い中山間地域で、全体の6割強の245軒を活動範囲としている。

人口減少や高齢化による集落機能の低下で、農地の維持・保全が個人では限界となる中、合併前は個々の組織で地域課題に対応してきた。

地区全体でも同じような課題が多いことから、合併による農地保全活動の強化の機運が高まり、3年間にわたる合併協議を経て現在に至った。

事務の効率化や長寿命化対策事業の予算の拡大、更には地域全体の農地保全の取り組み強化などの合併メリットを実感し、組織活動を展開している。

地方創生が叫ばれる昨今、農地保全について地域自らが考え、現役世代のわれわれが環境を整備して後世に財産を残し、集落機能のより一層の強化を図るため、地域一体で三隅の農地保全活動を推進していきたい。

(事務局長、繁澤裕司)

|| 金曜日掲載 ||

【メモ】会長 || 大野耕作  
▽会員 || 434人、農家(343人)、自治会(10)、  
営農組合(8)、子ども会(3)、消防団(4)、農事組合法人(2)、婦人部(2)、保安部など▽設立 || 2015年8月7日▽連絡先 || 長門市三隅下518、市三隅農業者トレーニングセンター2階、大野耕作さん、電話0837・43・0813